

ナゴヤ子ども応援大綱

～ 日本で1番子どもを応援するマチ ナゴヤ ～

「教育」を「Education」へ！

「教」の字の「攴」にはムチの意味が入っているといわれている。子どもを型にはめるのではなく、「Education（e＝外へ、duce＝引っばること。）」の精神のもとで、「教え込む」授業ではなく、「子どもが考え、自ら学ぶ」授業を推し進め、子どもたちに内在する生きる力を引き出し、人生を応援します。

「なごやっ子」の育ちと針路を応援する仕組みを確立！

常勤のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールアドバイザーとスクールポリス（現在は非常勤）からなる4職種のチームで子どもを応援する日本初の仕組み「なごや子ども応援委員会」を確立して、悩みを解決し、目の前の進路にとどまらない「大きくなったら何になるの？」という将来の針路を応援します。

また、貧困問題に起因して深刻化する子どもの問題に正面から全庁的に取り組みます。

歴史や文化を大切に作る心を育み、世界にはばたく力を育成！

日本・ナゴヤの歴史や文化の魅力に誇りを持ち、自らのアイデンティティを形づくる地域や家族などを大切にし、自分の考えを持ち人前で堂々と話せる、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。

名古屋市教育振興基本計画の重点的取組事項を力強く推進！

「グローバル人材育成教育の推進」、「子ども・教育に関する総合的な相談施設の整備」、「歴史の里の整備」など重点施策の着実な推進を図り、特に「学校トイレさわやか改修」については、力強く進めます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として、上記のとおり定める。

平成27年5月24日

名古屋市長

河村たかし

新潟市 教育の大綱

1 目指す子どもの姿・市民の姿

◎学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども

◎生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民

2 取組の方針

—学・社・民の融合による教育の推進—

新潟市と新潟市教育委員会は、目指す子どもの姿、市民の姿の実現に向け、子どもは社会の宝であり、人材は地域の大切な財産であるとの基本的な考えのもと、連携して「子どもたちの育ち」と「市民の生涯にわたる学び」を支えるため、互いのもつ情報・知識の共有や資源の有効活用などを図りながら、学・社・民の融合による「人づくり」「地域づくり」「学校づくり」に次の3つの柱で総合的に取り組みます。

3 取組の柱

○自分の力に自信をもち心豊かな子どもを育む学校教育を推進します。

○創造力と人間力を高める生涯学習を推進します。

○自立し開かれた学びを支援します。

4 対象とする期間

平成27年度から平成31年度

平成27年6月8日

新潟市長

